

タマネギ・レタス栽培の省力機械化技術

研究課題名

タマネギ及びレタス栽培の省力機械化システム実用化（平成26年～28年度）

[研究のねらい]

本研究所で開発した生食用タマネギ栽培における育苗、移植、収穫の省力機械化システムとレタス収穫作業の省力・機械化システムについて、現地での栽培実証と実用化を図る。

[研究の成果]

1. タマネギ底面給水育苗技術を開発



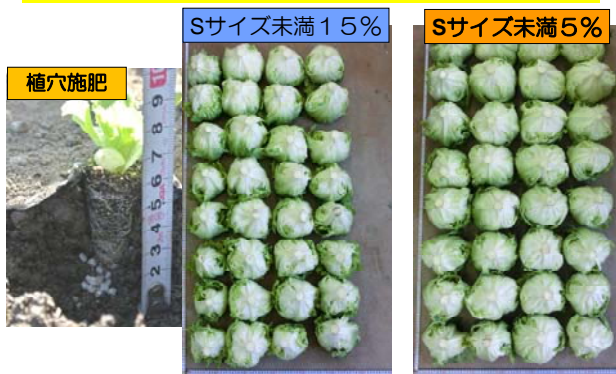
育苗作業時間 1/4、移植作業時間 1/9
タマネギ省力育苗システムが普及(現地1件)

2. タマネギ収穫機を試作



マルチフィルムを除去しながら掘取
能率手作業比 9倍

3. レタス生育斉一化技術を開発



移植時に植穴に粒状肥料を施肥
大玉率を高めて一斉収穫を可能に！

4. リーフレタス収穫機を開発・実証



4条同時収穫可能
能率 手作業比 4倍(損失なく収穫)

省力機械導入による大規模経営体試算結果

上記の省力機械を導入した場合、タマネギでは栽培面積7haで売上5,000万円のビジネス経営体が可能で、労力は同規模の慣行作業体系に比べ約1/2に削減されます。

レタスでは一斉収穫栽培を導入するだけで、手作業収穫でも収穫労働時間が5割減ります。

(経営・生産システム科 TEL: 0538-36-1551 e-mail: agriikeiei@pref.shizuoka.lg.jp)